



# SHOW COM

Vol.2

～最新のお笑い情報をいち早くお届けするフリーペーパー『SHOW COM』（ショーコン）～

## 日本エレキテル連合 朱美ちゃん&細貝さんを含む強烈で強力なキャラが 目白押しの第2弾DVD『腹腹電気』が遂にリリース!

### Interview 01



●『腹腹電気』が発売になりますが、早くも第2弾ですね!

中野聡子(以下、中野): ありがたいことです。

●第1弾DVD『シリアル電気』の反響はいかがでしたか?

中野: 朱美ちゃん和細貝さんの他にも、いろいろとキャラがあることを知っていただけなのが、嬉しかったですね。

橋本小雪(以下、橋本): 「全部キャラが違って、面白かった」と言っていただけでした。

●そして今回の『腹腹電気』、DVDを観た感じだとライブ形式ではなく、スタジオで収録されたようですね。

中野: そうなんです。私たちのコントって、笑うポイントがお客さん個人それぞれなもので……。狙い通りに観せられない自分たちが悪いんですけど、お客さんを入れると、コント中ずっとドヨドヨしている感じになってしまうので(笑)。なので、観ていただいた方が「面白い」と思ったところで素直に笑っていただけると、この形にしたんです。収録の順番は、メイクが一番少ないものから始めて、なるべく時間がかからないよう、段取りよくやるようにしました。

●日本エレキテル連合さんのネタを見てると、そのカッコ良さやシビレてしまいますね。女性でこれだけイキ違ったコントをできる人、他になかなかいないと思います。ふたりにとって、ネタを作る上でのポリシーとは?

中野: 基本的には「面白いと思ったことを素直にやろう」……あまり人の意見を聞かないというか、自分の中で面白いことはとにかくやります。あと、最初の明転(舞台上にライトが点いて明るくなること)で、笑いが起きたら勝ちだと思っています。最初に力を入れすぎて、尻すぼみになることもあります(笑)。

●今回のDVD、観てみての感想は?

中野: すごくいい作品ができたな、という気持ちでいっぱいです。『シリアル電気』も満足ゆくものでしたが、もっと自信を持ってお届けできるDVDとなりました。

橋本: うん、私も。

中野: 自分たちで観て、こんなに笑うことってなかなかないかも。

●『腹腹電気』に収められている9本のネタですが、おふたりの中で思い入れの強いものはありますか?

橋本: 私は「実のスイカ」です。これは正直、プロとして失格なんですけど……収録中に笑ってしまいました。中野が演じている実さんというオジサンが、本当に気持ち悪い! 自分が実際に、この状況に直面しているような感覚に陥ってしまって。思わず噴き出してしまいました。

中野: 私もネタをやっている最中、理性が飛んじゃって、危なかったです(笑)。おかげで何をやったのかすっかり忘れていて、完成作品を見た時は本気で笑っちゃいました。

橋本: このネタの中で、中野さんがアドリ

ブで吐いたセリフ「おめえ、スイカみたいなおっぱいしてんだな!」が、あまりにもツボで、もうダメだと(笑)。どのネタも好きなんですけど、収録中に我慢できず噴き出したほど、大好きです。

中野: 私は「都美子とのぶ夫」です。『シリアル電気』で「都美子と比呂美」というOLのふたりのコントがあり、その続きのようになっていますが、実はこっちのほうが先にできていたんです。このネタは、今の事務所に入る前からずっとやっていますね。都美子みたいな顔の人、意外と現実にもいるじゃないですか。それもあって、思い入れの強いネタです。

●都美子さんの旦那さんを、のぶ夫さんみたいな人にしようと思ったのは?

中野: 都美子とのぶ夫はカルチャースクールで出会っているので、のぶ夫は「カルチャースクールに来そうな人」として考えました。たぶん、陶芸やしおりをやるカルチャースクールに通っていたのだと思います。

●日本エレキテル連合さんのネタは、基本的に中野さんが作っているとのことですが、アイデアはどういう形で生まれてくるんですか?

中野: 私の場合、絵から生まれてくるんです。見た目、格好からネタを作っていきますね。ある意味、辻褄を格好に合わせている(笑)。『腹腹電気』と『シリアル電気』の大きく違うところは、最近やると橋本さんが頼もしくなって、キャラを自分で考えて作るようになってくれました。橋本さんもキャラ作りにも貢献してくれているところが、一番の違いです。だから今回は、まずは格好だけ作って、ふたりでキャラを入れて会話しながら作りました。

●すべてのキャラが、魂が乗り移ってできているんですね。

中野: そうです。今回収録している「木

茂井一物とゆみちゃん」の木茂井先生は、ほとんど橋本さんが勝手にやっているキャラです。

橋本: 演じていたら、楽しくなっちゃって(笑)。このネタを一度舞台でやったところ、舞台袖で見ていた芸人さんから「女の子(ゆみちゃん)を、あの化け物から守ってやりたい!」と言われたくらい、熱を入れて演じています。

●どのネタもすごいですが、いきなり一発目の「作業服と機関銃」から度肝を抜かれました。これは、どういう絵を浮かべたんですか?

中野: 青年海外協力隊の一員で、現地の農業指導員ですね。私が演じている人は、多分一時期大阪へ留学していて、そこで日本のお笑いを知ったのでしょうか。その後、現地で相方と出会い、コンビを組んだんです。

●おふたりのネタからは、キャラクターに対する深い愛情を感じます。

中野: はい、愛しています。すごく大好きです。橋本: キャラクターについて、普段の会話でしゃべったりします。

中野: 例えば、「細貝さんは、朱美ちゃんという愛する存在ができたから、幸せなんだと思う」とか。「都美子と比呂美」のふたりに関しては、私たちがすごく似ている。「実のスイカ」の実さんには、実(みのり)さんという亡き妻がいて、スイカの品種名も「みのり」というんです。

橋本: そういう細かいところまで、話して決めています。

●それでは、読者の皆さんにメッセージをお願いします。

中野: 絶対に、後悔させない自信があります。好き嫌いはあると思いますが、いい意味で印象に残る1本になると思います。お笑いのDVDって、一度観たら割とそのままとってちゃって、もう一度観たくなるのが1年後……ということも多いと思いますが、『腹腹電気』は一度観終ると、またすぐ観たくなり、いろいろ探りたくなるはず。ぜひ、何回も観てください。

橋本: キャラクターがいっぱいいるので、好きなキャラクターを見つけてもらえたら嬉しいです。

中野: 自分に似ているキャラ、きつっているもんね。



#### 特報!

・日本エレキテル連合『腹腹電気』発売記念イベントが9/29(月)タワーレコード渋谷店にて決定!  
・TSUTAYA各店にて『腹腹電気』をお買い上げの方先着でオリジナルうちわをプレゼント!  
いずれも詳しくはコンテンツリーグHPへ。



#### 日本エレキテル連合『腹腹電気』

「未亡人朱美ちゃん3号」の続編を含む、珠玉の9ネタを収録。愛情と狂気を込めて作られたキャラクターが織りなすコントは、見れば抱腹絶倒! 狂喜乱舞! 戦々恐々!?

ANSB-55170  
¥3,000+税  
2014年8月27日発売

# 神宮前四丁目視聴覚室

## [第2回] 香川県在住のお笑いDVDコレクター 菅家志乃歩の名盤DVDレビュー!

司会、俳優、ナレーター、ラジオ・パーソナリティなどなど、さまざまな分野で活躍している“マセキの小さな巨人”バカリズム。その活動の根本にあるのは、ステージでのライブ・パフォーマンスだ。数本のテレビ番組にレギュラー出演する昨今でも、単独ライブを定期的に開催している。

多忙な中でのネタ作りとはいえ、完成度に妥協は許さない。その独自の発想と確かな

表現力から生み出されるコントは、常に笑いと意外性の世界へと観客を誘う。

だからこそ、バカリズムのDVDから傑作を選び出すことは容易ではない。だが、その無理難題にあえて挑戦するならば、私は本作を選ぼうと思う。

『バカリズムライブ「運命」』には、2012年7月に開催されたライブの様子が収められている。サッカー報道のロマンチズムを

皮肉たっぷりに描いた「絶対に負けられない戦い」、藤子・F・不二雄の世界観を自己流に再構築した「マジカル☆中年」、あるメタリストが謝罪会見を開いたわけとは? 「はやすぎた男」など、発想を丁寧に組み立てて作り上げたコントの数々を楽しむことができる。

その中でも「運命のスケジュール」は珠玉の一品だ。人の運命を管理しているという「運命のマネージャー」と出会ってしまった男の物語で、コントというよりも掌編小説を思わせる。ドラマチックで底意地の悪い展開を、ぜひとも楽しんでもらいたい。質と量を兼ね備えたバカリズム、彼こそ天才と呼ぶに相応しい芸人なのかもしれない。

**菅家志乃歩(すがやし のぶ)**  
1985年生まれ、香川県在住のお笑いDVDコレクター。  
お客さん目線のお笑い考察でブログ「逢魔時の視聴覚室」やTwitterを中心に注目を集めている。  
Blog: <http://omoshow.blog95.fc2.com/>  
Twitter: @Sugaya03



**バカリズム『バカリズムライブ「運命」』**  
2012/7/20~22までシアターサンモールで行なわれた単独ライブのDVD化作品。8本の新作コントと、官能小説を含む特典映像を収録。  
ANSB-55112  
¥3,800+税 販売中

# 宇宙 日本 居酒屋

## うしろシティ・阿諏訪泰義の書き下ろしコラム! Vol.2『シンジユクホッピー』



同じ様なメニューを並べた同じ様な店が密集する酒場のカウンターで一人、ホッピーの弱い炭酸で一日の疲れを溶かしていたら、僕の隣で酩酊している白髪頭の常連客が、右隣で飲んでいた若者2人に絡みだした。「滋賀出身か!いや今話聞いてよ」「はあ。」「良いところだー滋賀は。飛騨高山だな。」「それは岐阜です。」「昔行ったんだよ?飛騨高山。」「僕は滋賀なんですよ。」

「うんうん。飛騨な。飛騨高山。」「滋賀と飛騨が混ざってます?」「あれなんだ。京都みてえな街並みがあったけど、なんだ?」「滋賀なので分からないです。」この辺りから地元を重んじないのは男として駄目だ、という説教モードに入り辟易する滋賀人にもう一人の若者が助け船を出した。「俺は千葉なんですよ!」「落花生な。で飛騨の実家には帰ってんのか!?!」千葉、一瞬で豆をぶつけられて散る。その後説教は店内に響き渡るように

続いたが、白髪頭が厚揚げを頬張る隙について滋賀人がトイレに逃げた。

厚揚げをレモンサワーで流し込んだ白髪頭がこちらを向く。「あんたはどこ生まれ?」すごいピンチ。神奈川県人の僕までもが滋賀人と同じ目に遭いかねない。酔った目でまっすぐ見つめてくる白髪頭、その奥で固唾をのんで見守る落花生男。もつ煮をよそっていた店主もその手を止めてカウンター越しに見てくる。「えー…僕は。あれです。…飛騨です。」その瞬間、店中がサッカーでゴールが決まったような盛り上がりを見せた。なんでそんな嘘を吐いてしまったのか自分でも分からない。

トイレから帰ってきた偽飛騨人こと滋賀人にも情報が伝わり、なぜ黙っていた、会話は聞こえていたはずだと、隠れ飛騨人のような扱いを受けた。

僕は意味不明なサービス精神が招いた悲劇を存分に味わう事となり、その夜は嘘

に嘘を塗り重ねて嘘を着にホッピーを飲んだ。



写真:阿諏訪泰義(うしろシティ)

# 日本エレキテル連合の“コンテンツ電気”

## 日本エレキテル連合・中野聡子の唯一無二な存在感が炸裂するアートな世界! [其の二]



凄いのができたよ。日本エレキテル連合第二弾DVD『腹腹電気』。前作にも増して感電していただけのこと間違いなしでしょう!

凄くワガママを言わせてもらいました。どうしてもある空間でコントをしたいとい

う前代未聞のお願いをしたのです。でもその希望を美術さんが見事に表現してくださって、それはもう……。GOサインを出してくださったコンテンツリーグさんにも感謝です。その空間というのはパッケージにも関係してくるんだけど、観て驚いて欲しいから皆まで言わないよ。

それから、この作品を我々の大切なキャラクター「小平市の細貝さん」に捧げます。ありがとう。



イラスト:中野聡子(日本エレキテル連合)

**うしろシティ『うしろシティ単独ライブ「うれしい人間」』**  
2014年10月8日には新作DVDの発売が決定!  
2013年8月1日、座・高円寺2での公演とライブの幕間映像、名古屋・大阪公演のバックステージを特典映像に収録!  
ANSB-55152  
¥2,857+税 販売中

**日本エレキテル連合『シリアル電気』**  
絶妙な目線や切り口で、オリジナリティ溢れる世界を作るベストネタ集! さまざまなキャラクターが演じるコントはまさに秀逸!  
ANSB-55151  
¥2,857+税 販売中

# New Release



**『必笑!〜お笑いファンが選んだネタベスト〜』**  
お笑いファンによるお笑いファンのためのDVD!『必笑!』WEB投票により、お笑いファンが太鼓判を押したネタだけを集めた究極のネタコンピレーションDVD!  
ANSB-55171  
¥3,000+税  
2014年8月27日発売

薄才・コント・ピンネタもありの全20組、収録時間160分超のお買い得盤!  
これを読れば、誰でもお笑い通!  
2006年~2014年6月までにリリースされたコンテンツリーグ全タイトルの中から投票の結果、収録されるのはこちらの20組!

- あばれる君「店長こだわりのグラタン」
- ラブレターズ「あの娘ほかか笑顔見せたらどんな顔するだろう」
- 三四郎「モテたい」
- 日本エレキテル連合「未亡人朱美ちゃん3号」
- うしろシティ「バンドやろうぜ」
- ニッチェ「東京のおばさん」

- ・ラバーガール「猫カフェ」
- ・ハラ子「ケイジ」
- ・ジグザグザギー「出欠」
- ・マシガンズ「女」
- ・鬼ヶ島「悪魔のぬいぐるみ」
- ・オゾンオズボーン「ネタ番組」
- ・ロッチ「タイトルマッチ」
- ・アルコ&ボース「忍者」
- ・ハイきんぐ「卒業生」
- ・キングオブコメディ「出張」
- ・ナイジ「ヤホーで2013年下半年を調べました」
- ・東京03「東京の両親」
- ・バカリズム「青い偏見」
- ・アンジャッシュ「家が燃えています」

# SHOW COM Vol.2

日本エレキテル連合のインタビュー完全版は、8月下旬よりコンテンツリーグのウェブサイトでご覧いただけます。

Published by Contents League  
<http://contentsleague.jp>  
© 2014 Contents League Inc.  
All Rights Reserved.